

福島第一原子力発電所3号機 第24保全サイクル 定期事業者検査における不適合事象について

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成22年6月21日～10月25日に不適合管理委員会で審査された不適合事象は、下記のとおりです。

区分Ⅰ：該当なし

区分Ⅱ：該当なし

区分Ⅲ：4件

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日 (公表日)
1	3号機	3・4号機主排気筒における放射性粒子状物質の定期測定において、7月21日から7月28日の期間に採取した試料採取フィルタからガンマ線を放出する物質（銀-110m）を検出した。 検出した放射性物質の濃度については、銀-110mの検出限界値（ $1 \times 10$ のマイナス9乗ベクレル/cm <sup>3</sup> ）を僅かに超える値（ $3 \times 10$ のマイナス9乗ベクレル/cm <sup>3</sup> ）であった。 今後、放射性物質の微量な放出の可能性も含め、原因について詳細に調査を行うこととした。	GⅡ	7/28 7月29日公表済
2	3号機	3・4号機主排気筒における放射性粒子状物質の定期測定において、7月28日から8月4日の期間に採取した試料採取フィルタからガンマ線を放出する物質（銀110m、コバルト60、マンガン54）を検出した。 今回検出した放射性物質の濃度は、いずれも検出限界値を僅かに超える濃度で、銀110mについては、 $4 \times 10$ のマイナス9乗（ベクレル/cm <sup>3</sup> ）、コバルト60については、 $6 \times 10$ のマイナス9乗（ベクレル/cm <sup>3</sup> ）、マンガン54については、 $2 \times 10$ のマイナス9乗（ベクレル/cm <sup>3</sup> ）であった。 今後、7月29日にお知らせした事象とあわせて、原因について詳細に調査を行うこととした。	GⅡ	8/4 8月5日公表済
3	3号機	定期検査中の原子炉建屋1階原子炉格納容器人員用扉入口周りの床面に水溜りがあることを協力企業社員が発見した。 確認した結果、残留熱除去系の系統内への水張り作業中に、同系統のテスト弁（2台）に接続した水抜き用の仮設ホースの排水先ドレンファンネルから水が溢れていることが認められた。 漏えい量は約25リットル、放射量は約9.1×10の5乗ベクレルであった。 今後、原因について調査及び再発防止対策について検討する。	GⅡ	8/24 8月25日公表済
4	3号機	8月23日、定期検査中の原子炉建屋内の圧力抑制室エリアで弁の分解点検作業を行っていた協力企業作業員（1名）に、放射性物質の身体への付着を確認したため、ホールボディカウンター装置で測定を実施したところ、当該作業員の体内にごく微量の放射性物質が取り込まれた可能性があることが判明した。 このため、8月24日、当該作業員について再測定を実施したところ、ごく微量の放射性物質の体内への取込みを確認した。 今後、原因について調査する。	GⅡ	8/23 8月24日公表済

その他：319件（グレード内訳 GⅠ：0件、GⅡ：46件、GⅢ：271件、対象外：2件）

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
1	3号機	タービン建屋換気空調系 6.9kV高圧電源盤室内局所空調機のドレン排水ポンプに汲み上げ不良及び結露水用堰からの溢水（約14リットル）が認められたため、当該ドレン排水ポンプを点検・清掃	GⅢ	6/20
2	3号機	原子炉建屋換気空調系 制御棒駆動水ポンプ室内空調機用冷却水配管の保温材表面に水のにじみ（汚染なし）が認められたため、当該配管を点検・修理	GⅢ	6/21

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
3	3号機	タービン建屋換気空調系 高圧復水ポンプ室空調機本体下部の腐食箇所より水のリーク（約2.5リットル、汚染なし）が認められたため、当該部を点検・修理	G III	6/19
4	3号機	タービン建屋2階北側の差圧扉に「自動閉」動作不良が認められたため、当該扉を点検・修理	G III	6/22
5	3号機	廃棄物処理建屋1階の燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器用ろ過材保持ポンプ廻りに水溜まり（約250cc、放射能あり）が認められたため、当該部を点検・清掃	G III	6/23
6	3号機	保安検査官による定例パトロールにおいて、タービン建屋内の一時仮置き表示に期限切れがある旨、指摘を受けたため、対応検討（保安検査官気付き事項）	G II	6/10
7	3号機	タービン補機冷却系熱交換器（C）用チューブの渦流探傷検査において、閉止栓施工基準に該当するものが認められたため、当該チューブ（7本）に閉止栓を取付	G III	6/22
8	3号機	主タービン油冷却器用温度調節弁の後弁にシートリークが認められたため、当該弁を点検・修理	G III	6/24
9	3号機	燃料交換機に「つかみ具異常」の警報が発生したため、当該燃料交換機を点検・修理	G III	6/25
10	3号機	旧廃棄物地下貯蔵設備排スラッジポンプ室で液体廃棄物処理系排スラッジ貯蔵タンク（B）のドレン配管閉止フランジ部より水が床面（堰内）に滴下（約3秒に1滴程度）し、床面に溜まっている（約40cc）ことが認められたため、当該溜まり水を汚染検査（放射能量は約 $11.04 \times 10^2$ ベクレル）後、除染、及び当該閉止フランジ部を点検・修理	G III	6/26
11	3号機	超高圧開閉所の断路器操作用空気に圧力「低」警報が発生したことから確認した結果、空気供給電磁減圧弁に電源が供給されていないことが認められたため、対応検討	G III	6/26
12	3号機	漏えい検出系漏えい検出表示盤に「タービン建屋トレンチ（ディーゼル発電設備3A側）漏水」を示す誤警報が発生したため、当該漏えい検出器を点検・修理	G III	6/27
13	3号機	タービン建屋ストームドレンサンプポンプ運転時、同サンプに「レベル低」を示す警報が発生したため、当該サンプのレベルスイッチを点検・調整	G III	6/28
14	3号機	原子炉補機冷却系熱交換器（A）設置エリアに敷設されているストームドレン配管に水ののにじみが認められたため、当該部を点検・修理	G III	6/28
15	3号機	原子炉建屋大物搬入口扉の非常時用「開」操作スイッチの保護カバー（アクリル製）に破損が認められたため、当該カバーを交換	G III	6/29

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
16	3号機	主復水器循環水系ポンプ（A・C）出口圧力指示計の点検準備作業において、点検対象号機を間違えて4号機側の計器廻りの水抜き操作を実施したことから、4号機中央制御室に「循環水ポンプ出口圧力高」を示す警報が発生したため、同計器を速やかに復旧及び対応検討	G II	6/28
17	3号機	6.9kV高圧電源盤室内における作業後の清掃に伴う粉塵により、同室内の火災報知器が誤動作したため、当該火災報知器を点検・修理	G III	6/27
18	3号機	プラント停止後の原子炉格納容器（ドライウェル）内電気品の点検において、電磁弁等のフレキシブル電線管取付け部（2箇所）に破損が認められたため、当該部を修理	G III	6/23
19	3号機	原子炉建屋換気空調系冷却装置用保護継電器の点検において、警報盤内設置の保護継電器（1台）に動作不良が認められたため、当該継電器を交換	G III	6/28
20	3号機	タービン建屋内ドレンファンネルの定期検査前点検において、詰まり等の不具合（計4箇所）が認められたため、適切に対応	G III	6/30
21	3号機	原子炉建屋内ドレンファンネルの定期検査前点検において、ゴムパッキンの所在不明（1箇所）が認められたため、パッキンを取付	G III	6/30
22	3号機	所内用空気系空気圧縮機潤滑油フィルタ本体上蓋取付部より油のリーク（4秒間に1滴程度）が認められたため、当該部を点検・修理	G III	6/30
23	3号機	タービン建屋1階の西側通路天井付近に敷設されている雨水排水配管より雨水のリーク（1秒間に数滴程度、汚染なし）が認められたため、当該配管を点検・修理	G III	6/30
24	3号機	保全計画書の長期保守管理方針に基づく「点検計画及び長期保守管理方針実施状況総括表」に記載の使用済み制御棒の点検実績に、一部記載漏れが認められたため、対応検討	G II	6/22
25	3号機	タービン建屋地下の主復水器抜管エリア東側天井付近に敷設されている雨水排水配管より雨水のリーク（1秒間に1滴程度、汚染なし）が認められたため、当該配管を点検・修理	G III	6/30
26	3号機	廃棄物処理建屋2階の北東部にある廃液濃縮器用ハッチ上部に雨水の浸入（約1リットル、汚染なし）が認められたため、当該部を点検・修理	G III	6/30
27	3号機	残留熱除去海水系熱交換器（A）海水側ドレン弁（2台）の浸透探傷検査において、弁棒径変化部に指示模様（腐食）が認められたため、当該弁棒を交換	G III	6/30
28	3号機	主タービン組合せ中間弁（No. 1～No. 6）の点検において、ストレーナ用キー溝及び位置決めピンに摩耗が認められたため、当該キー溝を修理及び位置決めピンを交換	G III	6/28

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
29	3号機	タービン建屋ストームドレンサンプレベルスイッチに接点動作不良が認められたため、当該レベルスイッチを点検・調整	G III	7/1
30	3号機	タービン補機冷却系熱交換器（C）の点検において、淡水側ベント弁にシートリーク（鉛筆の芯2本程度）が認められたため、当該弁を点検・修理	G III	7/1
31	3号機	空気抽出器インターコンデンサのUシールドレン弁にシートリーク（微量）が認められたため、当該弁を点検・修理	G III	7/2
32	3号機	中央制御室制御盤（9-8）入口扉に上部留め具破損による開閉動作不良が認められたため、当該扉を点検・修理	G III	7/2
33	3号機	主蒸気隔離弁制御盤の点検において、端子台に部分的なひび割れが認められたため、当該部を修理	G III	6/29
34	3号機	タービン建屋ストームドレンファンネルの詰まりによる溜まり水（汚染なし）が認められたため、当該ファンネルを点検・清掃	G III	7/4
35	3号機	原子炉格納容器機器ドレンサンプ出口放射線モニタに指示値不良（ダウンスケール）が認められたため、当該放射線モニタを点検・調整	G III	7/4
36	3号機	復水脱塩装置用苛性ソーダ加熱器出口温度及びイオン交換樹脂再生用水入口流量のデジタル表示器の数字表示部に一部点灯不良が認められたため、当該デジタル表示器を点検・修理	G III	6/25
37	3号機	原子炉建屋内放射線管理区域から協力会社作業員が退出する際、警報付き個人線量計を一時不携帯のまま移動する事象が発生したため、対応検討	G II	7/2
38	3号機	炉心性能計算機において、中性子計測系局部出力領域モニタの感度劣化補正係数の計算式に誤りが認められたため、対応検討	G II	7/2
39	3号機	タービン建屋地下1階の復水脱塩装置再生塔室内に設置されている空気作動弁（C-4）の点検において、弁駆動部付属部品に損傷が認められたため、当該部品を交換	G III	6/24
40	3号機	定期事業者検査（炉内構造物検査）において、原子炉再循環系ジェットポンプ（1台）の支持構造物内部部品（楔案内棒）に摩耗が認められたため、継続監視	G III	7/5
41	3号機	原子炉給水ポンプ駆動用タービン（B）低圧制御油圧力指示計の点検において、計器精度外れが認められたため、当該圧力指示計を交換	G III	6/25
42	3号機	主タービン前部軸受部に設置されている計測制御用ケーブル端子台の蓋固定用L型金具が溶接部から脱落したため、当該部を溶接補修	G III	7/2

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
43	3号機	復水ろ過装置の復水出口弁駆動部の点検におけるケーブル解線作業時、当該弁駆動部の電装品保護用カバーに損傷（ヒビ）が認められたため、当該カバーを交換	G III	7/5
44	3号機	主蒸気管フランジ締付ボルトの点検において、ボルトのネジ山部に一部欠損（1本）が認められたため、当該ボルト・ナット・座金（1組）を交換	G III	7/2
45	3号機	主低圧タービン（C）外部車室（上半）内部溶接線の浸透探傷検査において、指示模様（集中ブローホール）が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/2
46	3号機	主低圧タービン（B）外部車室（上半）内部溶接線の浸透探傷検査において、指示模様（円形及び集中ブローホール）が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/3
47	3号機	主低圧タービン（A）外部車室（上半）内部溶接線の浸透探傷検査において、指示模様（線状、円形及び集中ブローホール）が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/5
48	3号機	所内の電源盤取替工事に伴う仮設電源への切替作業において、「県テレメータシステム」に使用している発電機出力データ伝送用電源の停止を行った際、福島県原子力センターへの伝送停止に関する事前連絡を失念し、事後連絡となったため、対応検討	G II	7/7
49	3号機	循環水系ポンプ（A）の点検において、当該ポンプ構成部品（保護管等）の締付ボルト・ナットに腐食が認められたため、当該ボルト・ナットを交換	G III	7/5
50	3号機	循環水系ポンプ（B）の点検において、当該ポンプ構成部品（ポンプグランド部）の締付ボルト・ナットに腐食が認められたため、当該ボルト・ナットを交換	G III	7/5
51	3号機	バイタル交流電源装置用静止型無停電電源装置の点検において、電解コンデンサ（54個中10個）の取付け部に電解液漏れの痕跡が認められたため、当該部品を交換	G III	7/6
52	3号機	タービン建屋の床ドレンファンネル（TF-201）に詰まりが認められたため、当該ファンネルを点検・清掃	G III	7/8
53	3号機	タービン建屋換気空調系冷却装置の冷水ポンプ入口流量指示スイッチに指示値不良（オーバースケール）が認められたため、当該計器を点検・修理	G III	7/8
54	3号機	移動中の作業員が、原子炉建屋北東側階段で足首を捻って負傷した。応急処置を受けた後、業務車両にて県立大野病院に搬送し診察を受けたところ、「左足関節外側靭帯断裂」と診断されたため、対応検討	G II	7/5
55	3号機	原子炉建屋4階西側の電源開閉器盤裏側の「仮置き禁止エリア」にケーブル及び電源切替盤が仮置きされている旨、品質保証パトロールにて指摘を受けたため、対応検討	G II	7/6

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
56	3号機	主蒸気加減弁（No. 4）の点検において、スプリングハウジングガイドローラー枠板に摩耗が認められたため、当該枠板を交換	G III	7/6
57	3号機	主蒸気加減弁（No. 2）の点検において、クロスヘッド締付トルク値に管理目標値外れが認められたため、当該締付トルク値を調整	G III	7/6
58	3号機	主蒸気加減弁（No. 2）の点検において、スプリングハウジングガイドローラーに偏芯及び固着が認められたため、当該ガイドローラーを交換	G III	7/7
59	3号機	主低圧タービン（C）ローターの浸透探傷検査において、レーシングワイヤーの銀ロー溶接部に線状指示模様が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/6
60	3号機	主蒸気組合せ中間弁の点検において、スタンド締付ボルト・ナット（計8組）に固着が認められたため、当該ボルト・ナットを交換	G III	7/9
61	3号機	制御駆動水圧制御ユニット（30-35）の点検における、部品のネジ部を緩める作業の際、通常の作業方法では緩まない事象が発生したため、当該部品を交換	G III	7/8
62	3号機	原子炉給水ポンプ駆動用タービン（B）低圧加減弁点検において、同弁駆動用シャフトに摩耗が認められたため、当該シャフトを修理	G III	6/29
63	3号機	高圧復水ポンプ点検において、ポンプケーシング（下半）の一部に割れが認められたため、当該ケーシングを修理	G III	7/7
64	3号機	換気空調系高圧注水ポンプ室空調機の駆動用Vベルトに緩みが認められたため、当該Vベルトの張りを調整	G III	7/9
65	3号機	主タービクロスアラウンド管の浸透探傷検査において、同管2本に指示模様が認められたため、当該箇所を修理	G III	7/8
66	3号機	取水設備除塵装置点検において、トラベリングスクリーン（A・B・C）の筐体フレームの一部に腐食孔の発生が認められたため、当該腐食箇所を修理	G III	7/5
67	3号機	取水設備除塵装置点検において、バー回転式スクリーン（A）及びトラベリングスクリーン（A・B・C）の反駆動側シャフトに判定基準を超える摩耗が認められたため、当該シャフトを修理	G III	7/8
68	3号機	気体廃棄物処理系排ガス予熱器（B）の浸透探傷検査において、溶接線の近傍に指示模様が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/7
69	3号機	気体廃棄物処理系排ガス予熱器（A、B）の点検において、同装置廻りの保温材に劣化による損傷が認められたため、当該保温材を交換	G III	7/6

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
70	3号機	気体廃棄物処理系排ガス予熱器の点検において、胴フランジ締付け用ボルト・ナットの固着及び座金の変形が認められたため、当該ボルト・ナット（2組）及び座金（20個）を交換	G III	7/9
71	3号機	制御棒駆動水圧系駆動水加熱器出口側ベント弁（1台）の点検において、弁棒の径変化部に腐食が認められたため、当該弁棒を交換	G III	7/12
72	3号機	電気油圧式主タービン制御装置のオイル洗浄準備作業において、同装置非常停止装置の保護カバー取付ねじ部に折損が認められたため、当該ねじ部を交換	G III	7/12
73	3号機	所内ボイラ加熱蒸気系配管の放射線透過検査において、当該配管の肉厚測定値に管理基準値外れ（1箇所）が認められたため、当該配管を詳細点検及び交換	G III	7/6
74	3号機	主低圧タービン（B）ローターの浸透探傷検査において、レーシングワイヤーの銀ロー溶接部に線状指示模様が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/8
75	3号機	主低圧タービン（B）ノズルダイヤフラム（上半）の浸透探傷検査において、ノズル板溶接部に線状指示模様が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/11
76	3号機	主復水器細管洗浄装置用ボール捕集器（B2）の点検において、ゴムライニング部に一部剥離が認められたため、当該部を補修	G III	7/12
77	3号機	循環水系ポンプ（C）の点検において、カップリング及び保護スリーブ取付け用ボルト及びビス（計9本）に腐食及びネジ山の損傷が認められたため、当該部品を交換	G III	7/13
78	3号機	主低圧タービン（A）ローターの浸透探傷検査において、レーシングワイヤーの銀ロー溶接部に線状指示模様が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/12
79	3号機	非常用ディーゼル発電機（A）の淡水希釈用消火系配管元弁（屋外設置）にシートリーク（鉛筆の芯1本程度）が認められたため、当該弁を点検・修理	G III	7/14
80	3号機	主蒸気母管ドレンレベルスイッチの点検において、内部部品（マイクロスイッチ）に動作不良が認められたため、当該部品を交換	G III	7/8
81	3号機	主発電機密封油タンク用真空圧カスイッチの点検において、計器精度外れが認められたため、当該圧カスイッチを交換	G III	7/7
82	3号機	タービン駆動原子炉給水ポンプ（A、B）の点検において、潤滑油シールの表面に打痕、変形及び摩耗が認められたため、当該部品を交換	G III	7/8
83	3号機	原子炉給水ポンプ駆動用タービン（A、B）の点検において、2段、3段上半ノズルダイヤフラム位置決め用ピンに浸食が認められたため、当該部品を交換	G III	7/7

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
84	3号機	主低圧タービン（C）ノズルダイヤフラム（上半）の浸透探傷検査において、ノズル板溶接部に線状指示模様が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/13
85	3号機	主低圧タービン（C）内部車室（上半）の浸透探傷検査において、内部溶接線に線状指示模様が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/14
86	3号機	協力企業の作業員（1名）が放射線管理区域に入域した後、非管理区域に点検用治具を置き忘れてきたことに気づき、入域経路を逆戻りし、入域用ゲートから、非管理区域側に出てしまったため、対応検討 尚、本人の身体汚染なしを確認済み また、当該作業員が歩行した非管理区域側の経路の汚染なしを確認済み	G II	7/15
87	3号機	中央制御室換気空調系冷凍機（1A）用圧縮機出入口弁の点検において、取付用ボルトに腐食が認められたため、当該ボルトを交換	G III	7/13
88	3号機	第1給水加熱器（C）点検において、点検口マンホール用締付ボルトのネジ山に損傷が認められたため、当該ボルトを交換	G III	7/2
89	3号機	制御棒駆動水圧制御ユニットのスクラム出口弁点検において、2つのユニット（22-11、06-15）の同弁の弁棒に傷が認められたため、当該弁棒を交換	G III	7/14
90	3号機	主タービン点検において、低圧タービン（C）のエロージョンシールド板（浸食防護板）に判定基準を超える浸食が認められたため、当該エロージョンシールド板を交換	G III	7/8
91	3号機	主タービン点検において、低圧タービン（B）のエロージョンシールド板（浸食防護板）に判定基準を超える浸食が認められたため、当該エロージョンシールド板を交換	G III	7/11
92	3号機	主タービン点検において、低圧タービン（A）のエロージョンシールド板（浸食防護板）に判定基準を超える浸食が認められたため、当該エロージョンシールド板を交換	G III	7/14
93	3号機	廃スラッジ貯蔵タンク（B）レベル指示計に指示値不良（オーバースケール）が認められたため、当該指示計を点検・修理	G III	7/16
94	3号機	燃料集合体外観検査準備作業において、使用済燃料プール底部保管のチャンネルファスナ収納バスケットの吊上げ作業を行っていたところ、吊上げ高さ約70cmで吊り具フックが外れ、隣接バスケット上部に接触後、底部まで落下（ほぼ元の位置に着座）する事象が発生した。その後、当該バスケット、接触したバスケット及びプール底面に異常の無いことを確認、今後作業手順等対応を検討	G II	7/16
95	3号機	タービン建屋西側屋外に設置されている所内変圧器用中性点接地抵抗器盤（A）内における既設盤の撤去作業中、抵抗器ユニットに取付けてあった導体板（重量：約3kg）が倒れ、作業員の顔面（上唇部）に当たり、負傷したため、対応検討	G II	7/5
96	3号機	主低圧タービン（B）ノズルダイヤフラム（下半）の浸透探傷検査において、ノズル板溶接部に線状指示模様が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/15



No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
97	3号機	主高圧タービンノズルダイヤフラムの磁粉探傷検査において、水平締付ボルト（3本）のネジ部に線状指示模様が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/15
98	3号機	主タービンターニング装置用電動機の絶縁抵抗値測定において、絶縁不良が確認されたため、当該電動機を点検・修理	G III	6/28
99	3号機	主低圧タービン（B）ノズルダイヤフラム（上半）の浸透探傷検査において、ノズル板溶接部に線状指示模様が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/18
100	3号機	変圧器防災装置の排水ポンプ現場操作盤内のガラス面に結露水が付着しているため、当該操作盤扉のシール部等を点検・修理	G III	7/20
101	3号機	主タービン湿水分離器（No. 1）の浸透探傷検査において、線状指示模様及び円形指示模様が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/15
102	3号機	補給水系原子炉建屋側復水元弁の浸透探傷検査において、弁体シート面（出口側）に線状指示模様が認められたため、当該部を修理	G III	7/20
103	3号機	主復水器細管洗浄装置ボール捕集器出口弁（12台）及びボール注入管入口弁（12台）の点検において、スプリングの折損並びに弁棒及びフランジシート面の腐食が認められたため、当該スプリング及び弁棒を交換並びにフランジシート面を補修	G III	7/6
104	3号機	循環水系ポンプ（B）用他給水系空気作動弁駆動部の点検において、制御用電磁弁の台座に一部破損が認められたため、当該台座を交換	G III	7/7
105	3号機	復水脱塩装置の脱塩塔再生用水入口流量計の点検において、主軸の摩耗によるガタツキ等が認められたため、当該部を点検・修理	G III	7/9
106	3号機	復水脱塩装置の脱塩塔ベント母管元弁の点検において、当該弁に詰まりが認められたため、当該弁を清掃	G III	7/10
107	3号機	消火系泡消火設備の母管出口弁（C）の点検において、弁蓋グランド部に亀裂が認められたため、当該弁を交換	G III	7/19
108	3号機	原子炉給水ポンプ駆動用タービン（A）の点検において、第1段ローターバランスウエイトに浸食が認められたため、当該バランスウエイトを交換	G III	7/15
109	3号機	主低圧タービン（A）ノズルダイヤフラム（下半）の浸透探傷検査及び目視検査において、ノズル板溶接部に線状指示模様及びノズル板（1枚）に貫通孔が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/19
110	3号機	主低圧タービン（A）内部車室（上半）の浸透探傷検査において、内部溶接線に線状指示模様が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/20

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
111	3号機	主低圧タービン（A）ノズルダイヤフラム水平締付ボルトの磁粉探傷検査において、同ボルト（1本）のネジ部に指示模様が認められたため、当該ボルトを交換	G III	7/20
112	3号機	高圧注水系グラウンドシール復水器冷却水減圧弁駆動部の点検において、スプリングシートの点溶接施工部（2箇所中、1箇所）に割れが認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/19
113	3号機	非常用ガス処理系点検準備のための安全隔離作業において、制御回路用ヒューズの引抜きを実施したところ、原子炉建屋換気空調系給気隔離弁・排気隔離弁が全閉状態となり、原子炉建屋換気空調系及び原子炉格納容器パージファンが自動停止したため、当該ヒューズを復旧し、原子炉建屋換気空調系及び原子炉格納容器パージファンを再起動及び対応検討	G II	7/21
114	3号機	復水前置ろ過器の点検に伴う部品の吊上げ作業中、チェーンブロックのチェーン収納ボックス固定用ボルト（1本）が破損し脱落したため、当該ボルトを交換	G III	7/20
115	3号機	原子炉格納容器冷却系膨張タンク用レベルスイッチの点検において、同レベルスイッチのフロート接続用ワイヤに劣化が認められたため、当該ワイヤを交換	G III	7/12
116	3号機	所内ボイラ加熱蒸気系配管（HS-65）の放射線透過検査において、同配管の溶接部にブローホール（1箇所）が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/16
117	3号機	ドライウェル除湿系冷水ポンプの点検において、内部部品固定用キー溝と、キーの嵌合値に許容値外れが認められたため、当該キー溝を修理及びキーを交換	G III	7/21
118	3号機	主タービン湿分分離器用レベルスイッチ（12台中、5台）の外部ケーブル端子部が劣化し、当該ケーブルの芯線露出が認められたため、当該ケーブル端子部を修理	G III	7/20
119	3号機	換気空調系中央制御室フィルターユニット出口流量低検出スイッチ点検において、動作不良が認められたため、当該計器を交換	G III	7/9
120	3号機	高圧ケーブル末端処理作業において、残留熱除去系ポンプ（A・C）及び炉心スプレイ系ポンプ（A）の高圧ケーブルに劣化が認められたため、対応検討	G III	7/15
121	3号機	燃料プール冷却系冷却水ポンプ室内での配管支持物改善工事において、配管支持物（鋼材）の切断作業を開始した際、グラインダーの歯が鋼材から跳ね返り、右目尻下を負傷した。また保護メガネも同時に破損した。今後対応を検討	G II	7/21
122	3号機	循環水ポンプ（A）点検において、ポンプカバー取付用スタットボルトの雌ねじ2個（全4個）に腐食が認められたため、当該雌ねじ部を修理	G III	7/21
123	3号機	海水系硫酸第一鉄攪拌機用電動機本体及びファンカバーに腐食が認められたため、当該電動機を点検・修理	G III	7/20

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
124	3号機	循環水ポンプ（C）用電動機点検において、電動機上部軸受油ドレン配管に減肉が認められたため、当該配管を交換	G III	7/22
125	3号機	タービン補機冷却系熱交換器（C）において、海水配管のベント弁にシートリーク（3秒に1滴程度）が認められたため、当該弁を点検・修理	G III	7/23
126	3号機	原子炉給水ポンプ駆動用タービン（B）の点検において、第1段ローターバランスウエイトに浸食が認められたため、当該バランスウエイトを交換	G III	7/13
127	3号機	移動式炉内計装系点検の終了後、原子炉格納容器索引装置の取付・復旧時、移動式炉内計装系検出器案内管（B）に変形（曲げ）が認められたため、対応検討	G II	7/16
128	3号機	主タービン第1軸受戻り油温度指示計の点検において、計器誤差率に精度外れが認められたため、当該温度指示計を交換	G III	7/14
129	3号機	主タービン湿分分離器（No. 2）の浸透探傷検査において、線状及び円形指示模様が認められたため、当該部を修理	G III	7/20
130	3号機	原子炉補機冷却系の系統水排水作業の際、同系サージタンク下部の機器ドレンファンネルより溢水があり、当該ドレンファンネルに詰まりが認められたため、当該ドレンファンネルを点検・清掃	G III	7/23
131	3号機	主復水器（A-1）用冷却管の渦流探傷検査において、冷却管（1本）に判定基準外れが認められたため、当該冷却管に閉止栓を取付け	G III	7/23
132	3号機	主低圧タービン（A、B、C）ノズルダイヤフラムの点検において、内部部品固定用ビス（8本）に浸食が認められたため、当該ビスを交換	G III	7/24
133	3号機	原子炉格納容器内の弁点検において、原子炉水サンプリング元弁の弁蓋開放部より水のリーク（約1リットル、放射能あり）が発生し、飛散した水が協力企業作業員（5名）に掛かったため、対応検討	G II	7/26
134	3号機	主タービントーニング装置のクラッチ入切状態表示用リミットスイッチ及び電磁弁並びに温度検出器用機内配線末端部の被覆に劣化が認められたため、当該機内配線を交換	G III	7/21
135	3号機	主タービンローター油圧カップリングボルト締付け・取外し装置用油圧ポンプの出口圧力が規定圧力値に達しない事象が認められたため、当該ポンプを点検・修理	G III	7/20
136	3号機	主タービン湿分分離器（No. 3）の浸透探傷検査において、線状及び円形指示模様が認められたため、当該部を修理	G III	7/23
137	3号機	変圧器防災ポンプ（A）起動時にグラウンド部より水蒸気（もや状）の発生が認められたため、当該部を点検・修理	G III	7/27

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
138	3号機	原子炉再循環系電動機・発電機セット（A）流体継手フランジ座の浸透探傷検査において、線状指示模様が認められたため、当該部を溶接補修	G III	7/16
139	3号機	原子炉給水ポンプ駆動用タービン（A、B）ノズルダイヤフラム（上下半）の点検において、水平面及び嵌合部に浸食が認められたため、当該部を修理	G III	7/12
140	3号機	原子炉再循環系ジェットポンプ（6）の流量計元弁の浸透探傷検査において、弁座シート面に線状指示模様が認められたため、当該弁箱を交換	G III	7/27
141	3号機	復水回収タンクレベル調整器の点検において、計器精度外れ及びバランス機構調整不可が認められたため、当該計器を交換	G III	7/16
142	3号機	主タービングランドシール蒸気圧力変換器の点検において、計器精度調整不可が認められたため、当該計器を交換	G III	7/21
143	3号機	電気油圧式主タービン制御装置用冷却水回収ポンプ出口圧力指示計の点検において、当該計器テスト用配管に著しい詰まりが認められたため、当該配管を点検・修理	G III	7/20
144	3号機	非常用ディーゼル発電機（A）用スペースヒーターの電源ケーブル接続作業において、安全隔離状況確認を十分に実施せず、活線状態で行ったことが認められたため、対応検討	G II	7/28
145	3号機	非常用ガス処理系フィルタ入口空気温度検出器の点検において、内部回路に断線が認められたため、当該温度検出器を点検・修理	G III	7/29
146	3号機	主タービン湿分分離器（No. 4）の浸透探傷検査において、判定基準を超える線状指示及び円形指示が認められたため、当該部を修理	G III	7/27
147	3号機	主タービン湿分分離器ドレンタンクレベル調整逆止弁の浸透探傷検査において、弁体シート面に線状指示模様が認められたため、当該弁を交換	G III	7/29
148	3号機	残留熱除去系海水ポンプ（A）起動操作時、同ポンプの電源しゃ断器に動作不良が発生したため、調査後、対応検討	G III	7/31
149	3号機	廃棄物処理系シャワードレンろ過器（B）の上蓋フランジ部より水のリーク（2秒に1滴程度：堰内）が認められたため、当該部を点検・修理	G III	8/1
150	3号機	計装用圧縮空気系空気圧縮機（B）の点検において、潤滑油ろ過器本体にひび割れ及び同圧縮機組立てボルト用バネ座金（4枚）に劣化が認められたため、当該ろ過器及びバネ座金を交換	G III	7/28
151	3号機	主復水器細管洗浄装置（B・F）ボール捕集器出口弁（計2台）の点検において、弁箱に貫通孔が認められたため、当該弁を交換	G III	7/28

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
152	3号機	原子炉格納容器圧力抑制室真空破壊弁（1台）の点検において、二重シール部の漏えい量に許容値外れが認められたため、当該部を点検手入れ及びガスケットを交換	G III	8/2
153	3号機	復水脱塩装置樹脂通薬再生用苛性ソーダポンプ出口弁の点検において、弁蓋に破損が認められたため、当該弁蓋を交換	G III	7/29
154	3号機	復水脱塩装置樹脂通薬再生用硫酸ポンプ（B）入口弁の点検において、弁蓋に破損及び弁箱に腐食が認められたため、当該弁を交換	G III	7/29
155	3号機	復水脱塩装置樹脂通薬再生用硫酸ポンプ入口ストレーナの点検において、内部部品（こし筒）のこし網部に損傷が認められたため、当該部品を交換	G III	7/31
156	3号機	原子炉建屋非常用ガス処理装置室において、当該装置本体架台の下部にタバコの吸殻（1本）が発見されたため、対応検討	G II	8/2
157	3号機	非常用ディーゼル発電機の点検における起動・停止試験の実施時、エンジンの起動操作は成功したが、停止操作不可が認められたため、対応検討	G II	8/1
158	3号機	主タービン第1軸受戻り油温度検出器の点検において、予備エレメントに絶縁不良が認められたため、当該温度検出器を交換	G III	7/22
159	3号機	主タービン空気抽出器入口蒸気配管ドレンレベルスイッチの点検において、フレキシブル電線管に損傷が認められたため、当該電線管を交換	G III	7/23
160	3号機	主タービン油冷却器入口温度検出器の点検において、絶縁不良が認められたため、当該検出器を交換	G III	7/30
161	3号機	炉心スプレイ系配管支持構造物の点検において、油圧式緩衝装置軸受部（1箇所）に部品の取付不良が認められたため、当該軸受部を点検・修理	G III	8/2
162	3号機	屋外薬液系弁類の点検において、苛性ソーダポンプ出口弁等（4台）に著しい腐食のある部品が認められたため、当該部品を交換	G III	8/2
163	3号機	タービン駆動原子炉給水ポンプ（B）用交換部品の工場製作過程における加工ミスの発生により、当該部品の納期遅延が判明したため、対応検討	G III	7/22
164	3号機	移動式炉内計装系の点検終了後、現場制御器の近接スイッチ（チャンネルB）に「故障」を示す表示が認められたため、当該制御器を点検・修理	G III	7/26
165	3号機	原子炉格納容器の電気配線貫通部改造工事に関する使用前検査成績書記載の寸法検査記録に一部不備が認められたため、当該検査記録を訂正及び対応検討	G II	7/28
166	3号機	3・4号機270kV超高圧開閉所におけるしゃ断器用部品（閉止板）の取外し作業中、当該部品が落下した際、同一作業場所の下方にて別作業に従事していた作業員が右手を挟まれ負傷したため、対応検討	G II	7/24

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
167	3号機	主復水器ホットウェルレベル調整弁（補給側）駆動部の点検における漏えい確認試験時、圧力降下量に許容値外れが認められたため、当該部を点検・修理	G III	8/3
168	3号機	残留熱除去海水系ポンプ（B）出口弁の点検において、弁座ライニングに剥離が認められたため、対応検討	G III	8/4
169	3号機	原子炉補機冷却系循環ポンプ（B）駆動用電動機点検において、固定子巻線端部（ポンプ側）に絶縁被覆の損傷が認められたため、当該電動機を修理	G III	7/29
170	3号機	主復水器空気抽出器作動蒸気圧力調節弁出口側ドレントラップ点検において、フロート（浮子）に損傷（くぼみ）が認められたため、当該フロートを交換	G III	8/6
171	3号機	原子炉格納容器除湿冷却系冷水ポンプ入口圧力指示計の点検において、同圧力指示計用テスト弁に詰まりが認められたため、当該弁を点検・清掃	G III	7/12
172	3号機	原子炉格納容器除湿冷却系ターボ冷凍機用潤滑油温度指示計の点検において、目盛り板カバーに破損（割れ）が認められたため、当該カバーを交換	G III	7/14
173	3号機	制御棒駆動水圧系ポンプ入口フィルタ差圧指示スイッチの点検において、計器精度外れが認められたため、当該差圧指示スイッチを交換	G III	7/22
174	3号機	高圧注水系補助油ポンプ駆動用電動機の点検において、回転子シャフト軸受部に摩耗が認められたため、当該部を修理	G III	7/8
175	3号機	気体廃棄物処理系排ガス冷凍機（C）除霜完了表示用温度スイッチの点検中、感温部とキャピラリーチューブの接合点が破損したため、当該部品を交換	G III	8/5
176	3号機	第1給水加熱器（A）及び第2給水加熱器（A）用伝熱管の渦流探傷検査において、閉止栓施工推奨管（計19本）が認められたため、当該伝熱管に閉止栓を取付け	G III	8/5
177	3号機	取水設備トラベリングスクリーン（G）の点検において、ケーブル接続用コネクタ部に腐食による破損が認められたため、当該部品を交換	G III	8/6
178	3号機	取水設備トラベリングスクリーン（E・F）の点検において、下部シャフトに摩耗が認められたため、当該部を修理	G III	8/7
179	3号機	原子炉建屋換気空調系給気ファン（A・B）の運転切替用操作スイッチに動作不良（固くて操作困難）が認められたため、当該操作スイッチを点検・修理	G III	8/10
180	3号機	タービン主要弁スイッチボックスの点検において、ケーブル端末部に処理不良が認められたため、当該端末部を修理	G III	7/15

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
181	3号機	廃棄物処理系床ドレンフィルタ制御盤内の端子台において、床ドレンフィルタろ過材ブリコート入口弁制御用信号ケーブルの端子締付け用ビスに締付け状態不良が認められたため、当該ビスを交換	G III	8/12
182	3号機	廃棄物処理系ろ過材ブリコートポンプ本体ドレン弁にシートリーク（25秒間に1滴程度）が認められたため、当該弁を点検・修理	G III	8/12
183	3号機	廃棄物処理建屋制御室空調機（HVA3-3）において、給気側の風量が出ていないことが認められたため、当該空調機を点検・修理	G III	8/14
184	3号機	燃料装荷作業において、炉心監視装置に「伝送信号異常」が発生したため、伝送部品を交換	G III	8/15
185	3号機	残留熱除去系停止時冷却ポンプ入口弁（A・B・C）の点検において、弁体シート面に亀裂が認められたため、対応検討	G III	8/6
186	3号機	残留熱除去系ポンプ入口弁（D）の浸透探傷検査において、弁体シート面に線状指示模様は認められたため、対応検討	G III	8/11
187	3号機	残留熱除去海水系ポンプ（B）出口弁の点検において、弁体及び弁座のライニング部に一部剥離が認められたため、当該部を点検・修理	G III	8/5
188	3号機	原子炉給水ポンプ駆動用タービン（A）の点検において、軸受温度検出器先端部に破損が認められたため、当該検出器を交換	G III	8/9
189	3号機	第5給水加熱器（B）用伝熱管の渦流探傷検査において、閉止栓施工推奨管（計13本）が認められたため、当該伝熱管に閉止栓を取付け	G III	8/12
190	3号機	非常用ディーゼル発電機（B）排気口伸縮継手の点検において、損傷（割れ）が認められたため、当該継手を交換	G III	8/12
191	3号機	主復水器細管洗浄装置ボール循環ポンプ（B）の点検において、シャフトに摩擦が認められたため、対応検討	G III	8/10
192	3号機	所内ボイラ加熱蒸気及び復水戻り系配管のタービン建屋貫通部に設置されているラバーブーツに破損が認められたため、当該ラバーブーツを交換	G III	8/2
193	3号機	気体廃棄物処理設備補機冷却系冷却塔（A）の伝熱管に水のにじみが認められたため、当該部を点検・修理	G III	8/17
194	3号機	復水前置ろ過器点検保守用チェーンブロック装置の点検において、当該装置の組立て部品に著しい劣化が認められたため、当該部品を交換	G III	7/30
195	3号機	復水前置ろ過器（B）の点検において、モジュール押さえ板を取外した際、モジュール掴み具に割れ（2箇所）が認められたため、当該掴み具を交換	G III	8/2

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
196	3号機	第2給水加熱器（B・C）ドレンレベル調整弁の点検において、弁体及びシートリングに浸食が認められたため、当該部品を修理	G III	8/3
197	3号機	非常用ディーゼル発電機（B）のディーゼルエンジン用燃料油入口圧力指示計の点検において、計器精度外れが認められたため、当該圧力指示計を交換	G III	8/12
198	3号機	第24保全サイクル用保全計画書の添付資料確認作業において、「気体廃棄物処理系排ガス粒子フィルタ（A、B）」の開放点検に対する検査名の記載漏れが認められたため、当該保全計画書を改訂及び対応検討	G II	8/18
199	3号機	タービン建屋2階の換気空調系給気ファン室内に敷設されている配管下部の床面において、タバコの吸殻（1本）が発見されたため、対応検討	G II	8/18
200	3号機	原子炉格納容器漏えい率検査の準備中、当該検査用露点検出器（2台）に校正基準値外れが認められたため、対応検討	G III	8/18
201	3号機	原子炉冷却材浄化系ポンプ（A）出口流量低を示す警報の発生と同時に、当該ポンプが自動停止したため、原因調査及び対応検討	G III	8/19
202	3号機	循環水ポンプ用冷却器（C）の冷却水入口側流量スイッチ前弁のグランド部に水のにじみが認められたため、当該部を点検・修理	G III	8/20
203	3号機	社内における原子炉停止余裕検査後の制御棒2体（14-15, 18-19）の制御棒駆動水圧制御装置の隔離に伴うアキュムレータの水抜き操作時、「アキュムレータ圧力低/水位高」、「制御棒ドリフト」及び「制御棒値ミニマイザ制御棒駆動阻止」警報が発生したため、確認した結果、電気制御回路に異常があるものと推測されたため、当該電気制御回路を点検後、対応検討	G II	8/23
204	3号機	定期事業者検査（気体廃棄物処理系容器検査）の安全管理審査において、検査記録中の対比試験片の管理番号に誤記が認められたため、誤記を訂正及び対応検討（JNES指摘事項）	G II	8/20
205	3号機	循環水系ポンプ（C）の点検において、ポンプローター吊上げ代の寸法測定値に設計値外れが認められたため、当該部を点検修理	G III	8/19
206	3号機	原子炉格納容器ドライウェル床ドレン系隔離弁の弁間漏えい検査において、漏えい量に判定目安値外れが認められたため、対応検討	G III	8/20
207	3号機	定期事業者検査（非常用炉心冷却系ポンプ分解検査（R1））のうち、残留熱除去系ポンプ（C）の検査成績書において、検査判定者の記載に誤記が認められたため、誤記を訂正及び対応検討（JNES指摘事項）	G II	8/23
208	3号機	タービン建屋2階の火災報知器（No. 43）及び非常電話（T-16）の誤動作が認められたため、当該火災報知装置を点検・修理	G III	8/23
209	3号機	原子炉冷却材浄化系廃樹脂受けタンク上澄み水移送ポンプのグランドシール水排水用配管に詰まりが認められたため、当該配管を点検・清掃	G III	8/23



No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
210	3号機	補助海水系ポンプ（B）の点検において、カップリングナットのネジ山に摩擦が認められたため、当該ナットを交換	G III	8/11
211	3号機	主復水器水室（入口・出口）冷却水温度検出器～プロセス計算機までの計装信号回路の点検において、指示精度外れ（9台）が認められたため、プロセス計算機内部の制御回路基板を点検・調整	G III	8/10
212	3号機	主復水器水室出口冷却水温度検出器（6台）の点検において、絶縁抵抗値の低下及び出力精度外れが認められたため、当該温度検出器を交換	G III	8/18
213	3号機	復水脱塩装置遠方操作盤に制御システムの故障を示す警報が発生したため、原因調査及び対応検討	G III	8/3
214	3号機	原子炉格納容器サプレッションプールレベル変換器の点検において、出力指示精度外れが認められたため、当該レベル変換器を交換	G III	7/28
215	3号機	給水・再循環制御装置の点検に伴うケーブル接続作業において、ケーブルのシールド線を誤って充電部と接触させ、当該装置の制御回路用ヒューズが切れたため、対応検討 尚、ヒューズ切れによる電源断に伴い発生した制御棒手動操作系制御棒位置表示装置の軽故障を示す警報はヒューズの交換により復旧した。	G II	8/20
216	3号機	主発電機保護継電器盤取替工事において、制御ケーブル絶縁体にヒビ割れが認められたため、当該部を点検及び対応検討	G III	8/23
217	3号機	制御棒駆動水圧制御ユニットの使用開始のため、アキュームレータ充填操作実施中、制御棒駆動水圧制御ユニット（02-35）及び（18-51）のアキュームレータレベル高を示す警報ランプが消灯しないため、当該レベル検出器（2台）を点検・修理	G III	8/24
218	3号機	主タービンランド蒸気系蒸化器ドレン配管の点検において、当該配管接続部内に金属片（長さ：約4cm、縦：約1cm、横：約1cm）の存在が認められたため、当該金属片を回収	G III	8/25
219	3号機	原子炉再循環系電動機・発電機セット室内局所空調機のドレン受け皿より結露水のにじみ（汚染なし）が認められたため、当該ドレン受け皿を点検・修理	G III	8/26
220	3号機	原子炉隔離時冷却系復水ポンプの点検における試運転時、直流125V動力電源盤の過負荷を示す警報が発生し、当該ポンプが自動停止したため、当該ポンプ制御用電源回路を点検・修理	G II	8/26
221	3号機	タービン建屋地階の主復水器（A）近傍において、タバコの吸殻（2本）が発見されたため、当該吸殻を回収及び対応検討	G III	8/26
222	3号機	ドライウェル機器ドレン系原子炉格納容器隔離弁の弁間漏えい検査において、漏えい量に判定目安値超えが認められたため、当該弁を点検・修理	G III	8/26

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
223	3号機	電気油圧式主タービン制御装置の高圧制御油圧力変換器（B）から元弁間の計装配管継手部に油のにじみが認められたため、当該部を点検・修理	G III	8/27
224	3号機	原子炉建屋2階南東階段脇に設置されている携帯用蓄電池の充電タイマ調整用つまみに破損が認められたため、当該タイマ調整用つまみを交換	G III	8/28
225	3号機	原子炉建屋地下2階床ドレンサンプに設置の仮設ポンプ（空気作動式）廻りに、同ポンプから排出された作動用空気に含まれる凝縮水による水たまり（約500cc）を確認したため、当該溜まり水を汚染検査（汚染なし）後、除去及び作動空気排出部に湿分分離器を設置	G III	8/28
226	3号機	定期事業者検査「中央制御室非常用循環系機能検査」の社内検査において、中央制御室フィルタユニット出口弁の開閉状態表示灯に開側表示灯および閉側表示灯の両点灯が認められたため、調査後対応検討	G III	8/30
227	3号機	定期事業者検査「中央制御室非常用循環系機能検査」の社内検査において、模擬信号を入力した際、ブースターファン（A）が起動するべきところ、ブースターファン（A）及び（B）の2台が起動したため、調査後対応検討	G III	8/30
228	3号機	1～4号機共用所内ボイラ（C）循環ポンプにおいて、同ポンプ軸封部冷却器出口配管保温材隙間より水のリーク（20秒に1滴程度）及び床面への滴下（約90cc）が認められたため、当該配管の漏えい箇所を調査後対応検討	G III	8/31
229	3号機	残留熱除去系（B系）制御用機器の動作確認において、残留熱除去系（A系）の原子炉停止時冷却モード注入弁が自動で閉動作する事象が認められたため、原因調査及び対応検討	G II	8/19
230	3号機	定期事業者検査「配管肉厚測定検査」の検査対象給水系配管に、判定値外れが認められたため状況調査後、再検査及び対応検討	G III	8/28
231	3号機	定期事業者検査「配管肉厚測定検査」要領書に記載されている検査対象配管の配管仕様データ（材質）に誤記が認められたため、当該検査要領書を改訂後、再検査及び対応検討	G II	8/28
232	3号機	タービン建屋換気空調系冷却装置用警報盤内設置のタイマ継電器に作動不可が認められたため、当該継電器を交換	G III	8/31
233	3号機	ケーブル処理室（南側）内における作業を終了した協力企業の作業員が、当該ケーブル処理室出入口扉の鍵を返却せずに退出し、当該鍵を紛失したことが認められたため、対応検討	G II	8/26
234	3号機	非常用ディーゼル発電機（B）の点検において、排気伸縮継手部（1箇所）より排気ガスのリークが認められたため、当該伸縮継手を交換	G III	8/31
235	3号機	原子炉建屋スチームドレンタンクのレベル高を示す警報が発生したにもかかわらず、当該ドレンサンプポンプが起動していなかったため、原因調査後、対応検討	G III	8/31
236	3号機	第24保全サイクル用保全計画書の添付資料確認において、点検時期を記載するための備考欄に一部記載誤りが認められたため、誤記を訂正及び対応検討	G II	9/1

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
237	3号機	主復水器細管洗浄装置ボール循環ポンプの試運転において、起動不可が認められたため、調査後対応検討	G III	9/3
238	3号機	残留熱除去系（B）サンプリングラックの通水確認において、同ラック内水圧減圧機構のグラウンド部より微小リーク（約6cc）が認められたため、当該部を点検および汚染検査（放射エネルギー：約2.4ベクレル）後、当該リーク水を除去	G III	9/5
239	3号機	非常用ディーゼル発電機（B）ターニング装置の駆動レバーの操作中、当該駆動レバー部分が破断したため、当該駆動レバーを交換	G III	8/30
240	3号機	主タービングラウンドシール蒸気系蒸化器の内部点検において、ドレン出口座の偏流防止板に浸食が認められたため、対応検討	G III	8/31
241	3号機	タービン駆動原子炉給水ポンプ（A）室床ドレンファンネルの詰まりによる空調機結露水のリーク（約3リットル、汚染なし）が認められたため、当該ドレンファンネルを点検・清掃	G III	9/7
242	3号機	大気放出管修理工事終了に伴う物品搬出の際、「搬出物品確認申請書・確認書」に誤記（構内保管品と再使用品の混在記載）が認められたため、当該書類を修正及び対応検討	G II	9/6
243	3号機	定期事業者検査「排ガス復水器容器検査（T1）」の安全管理審査において、同検査で使用した超音波探傷器（2台中、1台）の「測定器管理番号」が、検査成績書に記載されていない旨の指摘を受けたため、当該検査成績書を訂正及び対応検討	G II	9/7
244	3号機	第24保全サイクル用保全計画書の添付資料及び参考資料の内容確認において、「グラウンド蒸気復水器の非破壊検査（肉厚測定）」に関する「保全方式または頻度」の記載に誤記が認められたため、当該保全計画書を改訂及び対応検討	G II	9/7
245	3号機	主発電機固定子冷却水装置点検において、発電機入口流量スイッチに設定値外れが認められたため、当該装置を点検・修理	G III	9/8
246	3号機	中性子計測系起動領域モニタ（C）に指示値不良（ダウンスケール）が認められたため、原因調査後対応検討	G II	9/10
247	3号機	主タービン空気抽出器第1段空気入口弁（B）の開度指示計に指示値不良（ダウンスケール）が認められたため、当該開度指示計を点検	G III	9/10
248	3号機	圧力抑制室内点検において、異物（ホッチキスの針、紙、ファスナ取っ手、テープ片等全10点）を発見、回収した。	G III	9/11
249	3号機	気体廃棄物処理系活性炭ホールドアップ設備建屋空調機の起動操作時に「故障」警報が発生し、同空調機が起動不可となったため、原因調査後対応検討	G III	9/11
250	3号機	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器の試料採取用シンの排水配管継手部より水の微小リークおよび床面への滴下（約15cc）が認められたため、溜まり水を汚染検査（放射エネルギー：51ベクレル）後、除去および当該部を修理	G III	9/13

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
251	3号機	炉心性能計算機用プロセス計算定数の登録作業中、演算処理装置（1系）が自動停止し、演算処理装置（2系）に切替わったため、演算処理装置（1系）を点検・修理	G III	9/13
252	3号機	タービン建屋換気空調系非常用ディーゼル発電機（B）室入口ダンパ（2台中、1台）の点検において、同ダンパ駆動用電動機に動作不良（シャフトの固着）が認められたため、当該電動機を交換	G III	8/27
253	3号機	定期事業者検査「蒸気タービン開放検査（T2）」の検査成績書確認において、添付資料「検査体制図」の添付漏れが認められたため、対応検討（JNES指摘事項）	G II	9/14
254	3号機	主復水器細管洗浄装置（E）ボール捕集器の出入口差圧指示計に指示値不良が認められたため、当該差圧指示計を点検・調整	G III	9/14
255	3号機	原子炉再循環系電動機・発電機セット室内局所空調機用冷水配管の保温材部より結露水の床面への滴下（約40ccの水溜り、汚染なし）が認められたため、当該部を点検・修理	G III	9/14
256	3号機	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器（A）流量記録計の点検において、動作不良が認められたため、当該流量記録計を交換	G III	7/7
257	3号機	残留熱除去系ポンプ（A）の振動記録計に動作不良が認められたため、当該記録計を点検・修理	G III	9/15
258	3号機	非常用ガス処理系のプロセス放射線モニタ用サンプリング流量低を示す警報が発生したため、原因調査及び対応検討	G III	9/15
259	3号機	タービン建屋1階給水加熱器室におけるケーブル布設作業中の作業員の頭部（ヘルメット着用）が自動火災報知設備総合盤の扉に接触したことから、電話型発信機が浮き上がり、誤警報が発生したため、対応検討	G III	8/31
260	3号機	プラント運転開始時炉心特性データ採取において、制御棒（26-47）の1ノッチ引抜き操作を行ったところ、2ノッチ連続して引抜ける事象が発生したため、当該制御棒を正規の位置に戻し、データ採取を再開	G III	9/17
261	3号機	定期事業者検査成績書「配管肉厚測定検査（T1）」の検査記録に検査日付の記載漏れが認められたため、当該検査成績書を訂正	G II	9/15
262	3号機	コントロール建屋ケーブル処理室の壁面に塗装の剥離箇所が認められたため、当該部を点検・修理	G III	9/16
263	3号機	主復水器細管洗浄装置循環ポンプ（6台）の封水配管のストレーナに詰まりが認められたため、当該ストレーナを点検・清掃	G III	9/17
264	3号機	起動準備作業に伴う制御棒動作確認試験において、制御棒（46-11）を挿入操作した際、「制御棒位置検出器異常」警報が瞬時発生し、復帰する事象が発生した。その後、再現試験を行ったが、再現はなかった。制御棒位置表示機能に問題はなし。	G III	9/17

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
265	3号機	所内ボイラ室空調局所空調機空調ユニットの給気フィルタに詰まりが認められたため、当該フィルタを点検・清掃	G III	9/17
266	3号機	起動準備作業に伴い炉心スプレイ系（A）系を自動起動可能な状態にするための操作を行った際、同系統が自動で動作しない状態を警告するための表示灯（待機不全ランプ）が点灯したままであった。確認の結果、同ポンプ入口弁の待機不全検出用位置検出スイッチの接点のズレによるものと認められたため、当該スイッチの接点位置を調整	G II	9/18
267	3号機	高圧注水系ポンプ駆動用タービンの排気側ドレンポットに「水位高」警報が発生した。確認の結果、同ドレンポットのレベルスイッチの動作不良と推定されたため、当該レベルスイッチを点検	G III	9/19
268	3号機	漏えい検出系漏えい検出温度記録計の主蒸気逃し安全弁（G）の漏えい検出温度指示値に指示値不良が認められた。確認の結果、温度検出器配線の接触不良が確認されたため、当該配線を修理	G III	9/19
269	3号機	原子炉給水ポンプ駆動用タービン（B）の蒸気止め弁シートドレン弁「閉」操作時に同弁が過負荷により停止する事象が発生した。確認の結果、機器に異常のないことを確認した。また再現試験を行ったが再現はなかった。対応検討	G III	9/20
270	3号機	主タービン潤滑油系油清浄装置油フィルターポンプ軸封部より潤滑油の微量な漏えい、及び床への滴下（約1.3リットル）が認められたため、当該油を除去。なお、油受け容器を設置していたが、当該ポンプ本体を伝わり床へ滴下したものであった。	G III	9/17
271	3号機	主蒸気逃し安全弁（71C）漏えい検出系の温度の指示値上昇が認められたため、原因調査及び対応検討	G III	9/19
272	3号機	クラス1機器供用期間中検査の漏えい検査成績書において、原子炉圧力容器最低使用温度値に誤記が認められたため、対応検討（JNES指摘事項）尚、当該温度値の誤記については、温度計測記録より当該漏えい検査の結果に影響を及ぼすものではないことを確認済	G II	9/22
273	3号機	プラント起動に伴う主タービン定格回転数（1500rpm）到達時の負荷設定値が、通常値に比較し高い値を示していることが認められたため、負荷設定値を再調整	G II	9/22
274	3号機	タービン建屋所内ボイラ室内に敷設されている加熱蒸気系配管の天井貫通部より雨水の浸入が認められたため、当該部を点検・修理	G III	9/23
275	3号機	高圧復水ポンプ（A）反カップリング側サイクロセパレータ溶接部より水のリーク（1秒間に2滴程度）が認められたため、当該部を点検・修理	G III	9/24
276	3号機	非常用ディーゼル発電設備（B）用燃料デイトクのベント配管屋外部に腐食による折損が認められたため、当該ベント配管を修理	G III	9/26
277	3号機	廃棄物処理建屋換気空調系給気ファン（3）の給気温度指示計に指示値不良（ドリフト）が認められたため、当該温度指示計を点検・修理	G III	9/28

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
278	3号機	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器（B）サンプリング系の自動減圧機構に動作不良が認められたため、原因調査及び対応検討	G III	9/28
279	3号機	原子炉建屋1階制御棒駆動水圧制御ユニット（北側）エリアの消火系配管より水のリーク（約1.5リットル、汚染なし）が認められたため、当該配管を修理	G III	9/28
280	3号機	関係機関に提供している情報のうち、熱的制限値のグラフに記載されている燃焼度予測値の一部表記に誤りが認められたため、修正し再提供済	G II	9/28
281	3号機	所内ボイラ室蒸気供給母管用ドレントラップ下流側排水配管からの凝縮水の床面への滴下（3秒間に1滴程度、汚染なし）が認められたため、当該部を継続監視	G III	9/29
282	3号機	排ガス放射線モニタにおけるサンプリング時、供給ガス流量指示計に指示値不良（ドリフト）が認められたため、当該流量指示計を点検・調整	G III	9/29
283	3号機	主排気ファン建屋の送風機（A）出口ダンパの仕切板（3枚中、2枚）に動作不良（開固着）が認められたため、当該ダンパを点検・修理	G III	9/30
284	3号機	排気筒ドレンサンプのレベル高を示す警報が発生し、即時復帰する事象が頻発するため、原因調査及び対応検討	G III	10/1
285	3号機	換気空調系排風機建屋の排風機振動測定において、排風機軸受部の振動速度値に判定値外れが認められたため、当該排風機を点検・修理	G III	10/1
286	3号機	超高压開閉所内ルーフドレン配管付近（3箇所）より雨水の浸入が認められたため、当該部を点検・修理	G III	10/1
287	3号機	原子炉補機冷却系熱交換器（C）の海水系側ベント弁にシートリークが認められたため、当該弁を点検・修理	G III	10/3
288	3号機	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器（B）出口ドレン配管に詰まりが認められたため、当該配管を点検・清掃	G III	10/3
289	3号機	第24保全サイクル定期事業者検査「気体廃棄物処理系容器検査（T1）」の検査成績書において、検査手順のチェック記入欄に一部記入漏れが認められたため、対応検討	G III	9/28
290	3号機	原子炉再循環系電動機・発電機セット軸受温度記録計に指示値不良（ハンチング）が認められたため、当該記録計を点検・修理	G III	10/4
291	3号機	タービン建屋換気空調系低圧復水ポンプ室局所空調機の本体に腐食（5箇所）及び当該腐食箇所からの結露水の滴下（5秒間に1滴程度、汚染なし）が認められたため、当該部を点検・修理	G III	10/4

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
292	3号機	コントロール建屋換気空調系中央制御室空調機（A）のフィルタ差圧指示計に指示値不良（ドリフト）が認められたため、当該差圧計を点検・修理	G III	10/5
293	3号機	第24保全サイクル保全計画書に記載されている検査名（8件）に一部誤記が認められたため、誤記を訂正（JNES気付き事項）	G III	10/4
294	3号機	「クラス1機器供用期間中検査」の検査記録において、対比試験片の管理番号に誤記が認められたため、誤記を訂正及び対応検討（JNES指摘事項）	G II	9/30
295	3号機	第24保全サイクル定期事業者検査「プロセスモニタ機能検査（M1）」の検査要領書の表紙に「改訂番号」の記載漏れが認められたため、「改訂番号」を記載（JNES気付き事項）	対象外	10/5
296	3号機	定期事業者検査「蒸気タービン開放検査（T3）」検査成績書の一部に記載漏れが認められたため、対応検討	G II	10/5
297	3号機	中性子計測系起動領域モニタ（D）に「レベル高高」警報の発生、復帰が頻発したため、確認したところ、同警報用継電器の誤作動が認められたため、対応検討	対象外	10/5
298	3号機	原子炉建屋1階の消火系配管より水のにじみリーク（約2分に1滴程度）が認められたため、当該部を点検・修理	G III	10/6
299	3号機	中央制御室において、検査準備のため計測器用ケーブルの布設作業を行っていた当社社員が、脚立からバランスを崩して落下、転倒し、左腕を損傷したため、病院へ搬送及び対応検討	G II	10/7
300	3号機	中央制御室の火災報知設備火災受信盤に「火災線路断線（信号線断線等の不具合）」を示す警報表示灯が点灯したため、原因調査及び対応検討	G III	10/8
301	3号機	廃棄物処理系廃液中和ポンプ（B）と床ドレン収集ポンプの連絡弁開閉表示用リミットスイッチ（開側）に接点動作不良が認められたため、当該リミットスイッチを点検・調整	G III	10/9
302	3号機	1～4号機共用所内ボイラの循環ポンプ（A）冷却用水配管に設置されている流量監視窓（ガラス製）に汚れが認められたため、当該流量監視窓を点検・清掃	G III	10/10
303	3号機	1～4号機共用所内ボイラの循環ポンプ（B）冷却用水配管に設置されている流量監視窓（ガラス製）に汚れが認められたため、当該流量監視窓を点検・清掃	G III	10/10
304	3号機	1～4号機共用所内ボイラの循環ポンプ（C）冷却用水配管に設置されている流量監視窓（ガラス製）に汚れが認められたため、当該流量監視窓を点検・清掃	G III	10/10
305	3号機	電動機駆動原子炉給水ポンプ（A）入口圧力指示計に指示値不良（ハンチング）が認められたため、当該圧力指示計を点検・調整	G III	10/12

No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
306	3号機	第24保全サイクル定期事業者検査「原子炉格納容器隔離弁分解検査（R1）」において、検査成績書の特記事項記載欄への一部記載漏れが認められたため、当該検査成績書を訂正及び対応検討（JNES気付き事項）	G II	10/8
307	3号機	原子炉補機冷却系熱交換器（C）の海水側ドレン弁にシートリークが認められたため、当該弁を点検・修理	G III	10/13
308	3号機	中央制御室換気空調系空調機（A）の給気処理装置下部腐食部より結露水の滴下（10秒間に1滴程度、汚染なし）が認められたため、当該部を点検・修理	G III	10/13
309	3号機	廃棄物処理建屋地下に設置されている床ドレンファンネル（立上げタイプ：1箇所）の配管閉止溶接部に亀裂が認められたため、当該部を点検・修理	G III	10/14
310	3号機	主発電機固定子冷却水系ポンプ予備機自動起動試験において、「予備ポンプ起動」表示器に動作不良が認められたため、当該表示器を点検・修理	G III	10/15
311	3号機	高圧注水系において、蒸気管ドレンポット水位検出元弁の弁蓋押さえボルト付近より蒸気の微量リークが認められたため、当該弁を点検・修理 なお、床面への水の滴下及びダストモニタの指示値上昇は無し	G II	10/17
312	3号機	原子炉建屋大物搬入口の搬出物品汚染検査エリアにおいて、物品搬出基準表面汚染密度を超える物品（安全ネット、25.9（Bq/cm <sup>2</sup> ））が認められたため、当該物品を養生し回収及び対応検討	G III	10/15
313	3号機	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器（B）用ろ過材保持ポンプの点検において、メカニカルシール部より水のリーク（2秒間に1滴程度）が認められたため、当該部を点検・修理	G III	10/20
314	3号機	主復水器細管洗浄装置を「全自動」運転モードでの通水運転した際、ボール循環ポンプ入口弁（全数：6台）に動作不良（自動開不可）が認められたため、調査後対応検討	G III	10/20
315	3号機	新廃棄物地下貯蔵設備建屋入口扉のハンドルに動作不良（ロック不可）が認められたため、当該扉を点検・修理	G III	10/21
316	3号機	原子炉格納容器弁グランド部漏えい温度スイッチ付記録計に指示値不良（指示乱点）が認められたため、当該記録計を点検・修理	G III	10/22
317	3号機	主復水器細管洗浄装置（E）ボール回収器の上蓋固定用ボルト（6本中、1本）に摩耗が認められたため、当該ボルト（全6本）を点検・修理	G III	10/22
318	3号機	制御棒駆動水圧制御ユニットの制御棒挿入側配管・引抜き側配管に設置されている各ベント弁出口側の閉止栓に水のにじみが認められたため、当該閉止栓シール部を点検・修理	G III	10/23
319	3号機	新廃棄物地下貯蔵設備建屋の廃スラッジ類攪拌抜出ポンプの位置指示器に指示値不良（ハンチング）が認められたため、当該位置指示器を点検・修理	G III	10/24



No.	号機等	不適合件名	グレード	発生日
-----	-----	-------	------	-----

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画外の原子炉停止</li> <li>・ 発電所外への放射性物質の漏えい</li> <li>・ 非常用炉心冷却系の作動</li> <li>・ 火災の発生 など</li> </ul>
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障</li> <li>* 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など</li> </ul> </li> <li>・ 原子炉への異物の混入 など</li> </ul>
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化</li> <li>・ 原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障</li> <li>・ 原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい</li> <li>・ 圧力抑制室等への異物の混入</li> <li>・ 原子力発電設備に係る業務における人の障害 など</li> </ul>
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常小修理 など</li> </ul>

不適合管理グレード分類（不適合管理委員会にて決定）

GⅠ	: 是正処置※1・予防処置※2を確実に実施すべき重要な事象
GⅡ	: 是正処置※1を確実に実施すべき重要な事象
GⅢ	: 修正処置※3を伴う事象
対象外	: 消耗品の交換等の事象
※1 是正処置：不適合の原因を除去するための処置（＝再発防止対策）	
※2 予防処置：是正処置を他の発電所へ展開する処置（＝水平展開）	
※3 修正処置：当該不適合を除去するための安全機能処置（＝修理、修正）	